

米沢の地域農業等の振興に関する要望

米沢市農業委員会では、本市農業の就業人口の変化などから農業者の高齢化や後継者不足、農地の遊休化の増加が懸念される所であり、将来の地域農業が展望できない事態に陥ることを憂慮している所です。

このようなことから、本市農業委員会において、委員活動の一助といたく、今後、農地の移動等を考慮していると思われる高齢者のみで農業経営を営む世帯を対象に、米沢の地域農業等の将来やあり方などのアンケート調査を実施しました。本アンケートは、農業委員会独自の活動として、全ての農業委員が対象者宅を直接に訪問・回収し、今後の地域農業等の将来を考えるうえで、貴重なご意見・ご要望等を賜った所です。

その内容については、別紙報告書のとおり取りまとめた所であり、委員会内での協議・検討を踏まえ、農業委員会として取り組むべきものとともに、議会や行政からの支援を必要とするものも多くあり、本市農業施策に反映していただきたく下記のとおりに要望いたします。

記

1 持続可能な地域農業の実現に向けて

本市の地域農業に関することに対する意識調査において、今後懸念することとして、「若い農業者が減少し、農業の高齢者化が一層進む。」とした方が3割強おられ、必要とされることとして「新規就農者や農業後継者が定着するように国などから支援してもらう。」が最も多く、持続可能な地域農業にあっては人材の確保、人づくりが重要であり、また、喫緊の課題である農地の集積や農業政策の安定化等についても取り組まれるようお願いいたします。

(1) 農業後継者の育成について

- ①若い農業者が情報や意見交換するための集える場を提供すること。
- ②農業後継者を対象とした本市単独事業の「米沢市未来を拓く農業支援事業」の継続及び充実を図ること。
- ③若い農業者を対象とした表彰制度を創設すること。

(2) 新規就農者の確保について

- ①新規就農者への支援のための青年就農給付金の周知について、積極的に広報活動等を行うこと。
- ②青年就農給付金（経営開始型）の給付停止となる所得額要件の廃止及び親元就農対象者の要件緩和について、国へ働きかけること。
- ③新たな担い手である新規就農者が先進的農業を学べる機会として、国内・国外研修への派遣事業を創設すること。

(3) 農地集積の取組みについて

- ①人・農地プラン策定への積極的な支援を行うこと。
- ②農地中間管理事業の円滑な推進と地域の調和に配慮した農業の発展を図ること。
- ③地域の中心となる経営体の育成を図ること。

(4) 農業政策の安定化及び本市農業の中長期計画の確立について

- ①持続可能な地域農業のため、農業政策の安定化を国へ働きかけること。
- ②本市の中長期の視点に立った農業振興計画策定にあたっては、農業者の意見を反映させること。

2 農業の多面的機能の維持・発揮について

日本型直接支払制度の取組みへの積極的なPRと実施地区の事務作業軽減を国等に働きかけること。

3 中山間地農業の活性化を目指して

中山間地域は、農業生産の拠点であり、地域住民の生活の場であるとともに、水資源の涵養・環境保全などの多面的な機能を果たしています。本地域は、高齢化の進行や遊休農地の増加などが顕著で生産性の低下や多面的機能の低下が危惧される事態となっており、住民の方からの強い危機意識が見受けられるところであり、本市中山間地域農業の維持・発展に向けての取組みをお願いいたします。

- (1) 中山間地の米づくりに関する山形県への働きかけについて
- ① 「つや姫」栽培適地外の中山間地域において、一定の要件を踏まえて、現況において「コシヒカリ」等を栽培し高い技術力を有する生産者の作付けが可能となるよう山形県に働きかけること。
 - ② 山形発の早急な中山間地向け水稻新品種の育成及びブランド化への取り組みを行うよう山形県に働きかけること。
 - ③ 既存の中山間地向け水稻優良品種の奨励及びブランド化への取り組みを行うよう山形県に働きかけること。
- (2) 有害鳥獣対策の充実を図ること。
- (3) 市独自の中山間地域の資源を活用した事業支援及び日本型直接支払制度に準じた中山間地農業への支援を行うこと。

平成26年6月30日

米沢市長 安部 三十郎 様

米沢市農業委員会
会長 伊藤 精 司

米沢の地域農業等の振興に関する要望

米沢市農業委員会では、本市農業の就業人口の変化などから農業者の高齢化や後継者不足、農地の遊休化の増加が懸念されるどころであり、将来の地域農業が展望できない事態に陥ることを憂慮しているところである。

このようなことから、本市農業委員会において、委員活動の一助といたく、今後、農地の移動等を考慮していると思われる高齢者のみで農業経営を営む世帯を対象に、米沢の地域農業等の将来やあり方などのアンケート調査を実施しました。本アンケートは、農業委員会独自の活動として、全ての農業委員が対象者宅を直接に訪問・回収し、今後の地域農業等の将来を考えるうえで、貴重なご意見・ご要望等を賜ったところである。

その内容については、別紙報告書のとおり取りまとめたところで、委員会内での協議・検討を踏まえ、農業委員会として取り組むべきものとともに、議会や行政からの支援を必要とするものも多くあり、本市農業施策に反映していただきたく下記のとおり要望いたします。

記

1 持続可能な地域農業の実現に向けて

本市の地域農業に関することに対する意識調査において、今後懸念することとして、「若い農業者が減少し、農業の高齢者化が一層進む。」とした方が3割強おられ、必要とされることとして「新規就農者や農業後継者が定着するように国などから支援してもらおう。」が最も多く、持続可能な地域農業にあっては人材の確保、人づくりが重要であり、また、喫緊の課題である農地の集積や農業政策の安定化等についても取り組まれるようお願いいたします。

(1) 農業後継者の育成について

- ①若い農業者が情報や意見交換するための集える場を提供すること。
- ②農業後継者を対象とした本市単独事業の「米沢市未来を拓く農業支援事業」の継続及び充実を図ること。
- ③若い農業者を対象とした表彰制度を創設すること。

(2) 新規就農者の確保について

- ①新規就農者への支援のための青年就農給付金の周知について、積極的に広報活動等を行うこと。
- ②青年就農給付金（経営開始型）の給付停止となる所得額要件の廃止及び親元就農対象者の要件緩和について、国へ働きかけること。
- ③新たな担い手である新規就農者が先進的農業を学べる機会として、国内・国外研修への派遣事業を創設すること。

(3) 農地集積の取組みについて

- ①人・農地プラン策定への積極的な支援を行うこと。
- ②農地中間管理事業の円滑な推進と地域の調和に配慮した農業の発展を図ること。
- ③地域の中心となる経営体の育成を図ること。

(4) 農業政策の安定化及び本市農業の中長期計画の確立について

- ①持続可能な地域農業のため、農業政策の安定化を国へ働きかけること。
- ②本市の中長期の視点に立った農業振興計画策定にあたっては、農業者の意見を反映させること。

2 農業の多面的機能の維持・発揮について

日本型直接支払制度の取組みへの積極的なPRと実施地区の事務作業軽減を国等に働きかけること。

3 中山間地農業の活性化を目指して

中山間地域は、農業生産の拠点であり、地域住民の生活の場であるとともに、水資源の涵養・環境保全などの多面的な機能を果たしています。本地域は、高齢化の進行や遊休農地の増加などが顕著で生産性の低下や多面的機能の低下が危惧される事態となっており、住民の方からの強い危機意識が見受けられるところであり、本市中山間地域農業の維持・発展に向けての取組みをお願いいたします。

- (1) 中山間地の米づくりに関する山形県への働きかけについて
- ① 「つや姫」栽培適地外の中山間地域において、一定の要件を踏まえて、現況において「コシヒカリ」等を栽培し高い技術力を有する生産者の作付けが可能となるよう山形県に働きかけること。
 - ② 山形発の早急な中山間地向け水稻新品種の育成及びブランド化への取り組みを行うよう山形県に働きかけること。
 - ③ 既存の中山間地向け水稻優良品種の奨励及びブランド化への取り組みを行うよう山形県に働きかけること。
- (2) 有害鳥獣対策の充実を図ること。
- (3) 市独自の中山間地域の資源を活用した事業支援及び日本型直接支払制度に準じた中山間地農業への支援を行うこと。

平成26年6月30日

米沢市議会議長 島 軒 純 一 様

米沢市農業委員会
会 長 伊 藤 精 司